



【開催趣旨】

ゼータ電位は微粒子分散系のみならず、ミセル、ベシクル、エマルションなどの領域でも必ず出会う量であり、これらの系の安定性や物性に深い関連を持っていることから、広く活用され続け、現在では多くの研究者や技術者の方々に利用され、安定性の指標として受け入れられています。しかしながら、「ゼータ電位」の実情は、取りつき難い概念で、測定するにも抵抗がある方もおられます。そこで本セミナーでは、「ゼータ電位」がより親しまれるようになり、また抵抗なく測定されるようになることを願って、電気二重層理論の第一人者である大島広行先生を講師にお招きし、基礎から応用までを計6回のセミナーにてじっくり学ぶ勉強会を企画してみました。

【講義内容】

以下のような内容を予定しております。必要に応じて演習問題等も準備する予定です。

- ・ van der Waals 引力を特徴づける Hamaker 定数（凝集促進因子）
- ・ 粒子間斥力を特徴づけるゼータ電位（分散促進因子）
- ・ 分子間引力と帯電粒子の電荷と電位
- ・ すべり面とは？
- ・ Smoluchowski の式と Huckel 式
- ・ Henry の式と遅延効果
- ・ 液体媒質中の帯電粒子のゼータ電位の評価法（電気泳動からゼータ電位の求め方）
- ・ 界面動電現象（電気浸透、流動電位、沈降電位、振動電位）とは？
- ・ ゼータ電位における水系と非水系の違い
- ・ 固体粒子および高分子電解質や高分子で覆われた粒子の電気泳動
- ・ 濃厚分散系と希薄分散系の違い
- ・ DLVO 理論を基礎にした粒子間相互作用とポテンシャル曲線の描き方
- ・ 微粒子分散系、エマルション系、などの安定性評価方法

【開催概要】

日時：	第1回	平成27年	7月	13日（月）	} いずれも 17:00~19:00
	第2回		8月	3日（月）	
	第3回		9月	7日（月）	
	第4回		10月	5日（月）	
	第5回		11月	9日（月）	
	第6回		12月	14日（月）	

会場：日本化学会会議室（東京都千代田区神田駿河台 1-5）

講師：東京理科大学 名誉教授 薬学部 嘱託教授 大島 広行先生

（司会進行：武田コロイドテクノ・コンサルティング(株) 武田真一）

定員：30名（定員になり次第締め切ります）

その他：終了後、有志による懇親会を開催予定です（会費別途）。先生と思存分ディスクカスしましょう。

参加費（全6回分一括払い）：部会員20,000円、日本化学会会員23,000円、一般25,000円、一般学生9,000円
学生部会員・日化会員・協賛学会会員7500円（界面動電現象研究会会員は、部会員扱いとなります。）

*勤務先が法人部会員の場合は部会員扱いとなります。

お申込方法

コロイドおよび界面化学部会ウェブサイト（以下キーワードでの検索又はURL に直接アクセス）からお申込み可能です。

コロイド 界面化学 **検索** ⇐ 又は <http://colloid.csj.jp/index.html>

上記ウェブサイトでの申し込みが出来ない場合、下記の「日本化学会コロイドおよび界面化学部会」事務局へお問い合わせ下さい。

参加費のお支払い

■郵便振替：郵便振替用紙の口座番号に00170-0-6058 と記載し、余白に「コロイド界面イブニングセミナー」と明記下さい。

■銀行振込：みずほ銀行神田支店普通1073505 名義「公益社団法人日本化学会」宛にご送金ください。

*領収書は当日会場においてお渡しいたします。当日のお支払いは受け付けておりません。

お問合せ(公社)日本化学会コロイドおよび界面化学部会事務局 TEL(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318 E-mail:dcsc@chemistry.or.jp